

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100393
法人名	医療法人 友志会
事業所名	グループホーム 良友
所在地	鹿児島県鹿児島市玉里団地二丁目5番1号 (電話) 099-229-8222
自己評価作成日	平成28年2月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年3月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

玉里団地中央にあるくわはたクリニックの上階にあり、介護療養型医療施設からの転換によりつくられた1ユニット9名のグループホームである。当クリニックは在宅療養支援診療所の届出をしており、医師・看護師の訪問があり、医療面のサポートが受けられる為、看取りも行っており、死亡退去される際は御家族様から感謝されている。同一敷地内にはデイサービスきぼうの里や、2ユニットのグループホーム玉里もあり、地域の医療・福祉・介護に貢献している。職員は正職員が多く、目配り・気配り・心配りを基本理念として、御利用者様が安心して、落ち着いて生活できるようサポートしている。食事面では、1日30品目以上の食材を使って調理するよう、栄養面を考えて工夫し調理している。

- ・当事業所は2階にあり、1階は母体医療機関である。24時間医療連携体制で緊急時でもすぐ対応できる。看取りの経験がある。定期的な訪問診療があり、家族の安心につながっている。また、看取り介護も行っている。
- ・隣接して同法人グループホームとデイサービスセンターがあり、防災訓練時、相互協力関係にある。
- ・中学生の職場体験学習の受け入れや夏休みの教職員の地域貢献研修、民生委員の団体での見学など受け入れている。
- ・”生きる、命を守る”を基本に、微量栄養素摂取を考慮した食事作りを行い、経口摂取が楽しみとなるよう心かけている。
- ・職員間のコミュニケーションが良好で離職者が少ない。また、職員1人1人の責任感が強く上司との信頼関係が構築されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事務所に掲げ、管理者、職員ともども常に再確認し共有し実践にむけている。	理念は地域との関連性を踏まえた事業所独自に作成し、玄関や事務所に掲示し、申し送り時に唱和し共有して、目配り・気配り・心配りをしながら実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	職場体験学習での地元の中学生との交流に利用者の笑顔がみられた。デイサービスへの行事に利用者とスタッフが参加し催しを楽しまれた。	町内会に加入し、役員なども引受け、地域行事の夏まつり等に参加している。中学生の職場体験や教職員の地域貢献研修・民生委員の見学実習・ボランティアの受け入れなども行っている。認知症についての地域住民からの相談に施設長が対応している。近隣の散歩や買い物などで日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域住民の介護相談等に施設長が応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会長、民生委員の方の参加で意見を頂きサービスの向上に活かしている。</p>	<p>定期的に会議を開催している。ホームの現状や外部評価調査結果等、報告し意見交換している。インフルエンザ流行時の面会についてや敬老会について等話し合い、サービス向上に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括支援センターと連携し、協力関係にて空室状況やケアサービス、実情等お伝えしている。</p>	<p>市担当者とは、必要に応じて相談や情報を交換して助言を貰うなど、日頃から連携を取っている。市主催の研修などに参加している。介護相談員を年1回受け入れている。主に地域包括支援センター職員と連携し、実情報告や相談などして協力関係にある。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束はせずに声かけと見守りで対応し、玄関の施錠をしていない。</p>	<p>事例や課題に基づいて定期的に勉強会を行い、職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。昼間の玄関は施錠せず職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>出勤者の連携で防止し、誤解をうまないようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>パンフレット等でお互い学びあい活用できるようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、納得して頂けるよう説明をし心配な点がないようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時、家族会等で皆様からの要望をお聞きし運営に反映できるよう各々している。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で思いを聴いている。家族からは面会時に利用者の状況を説明し希望や要望を聞くようにしている。家族会でも声かけし意見などを言える環境を心がけている。要望で、ぬり絵を活用したことで安定した日々を過ごしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>昼食時等職員へ意見を聞く機会を作り運営にも反映できるようにしている。</p>	<p>申し送りや会議などで意見や気づき・提案などを聞いたり、連絡帳を活用したりして思いを把握している。日頃から施設長や管理者は職員とのコミュニケーションを図り、相談やアドバイスをするなど関係性が構築されている。意見で杖から歩行器へ変更し、安全な歩行となっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個別のロッカールームも整備され、働き易く職場環境は整っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>勤務調整をする事で研修に参加できる配慮をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム玉里の管理者やスタッフとの交流の機会がありサービス向上への力になっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	スタッフ各々で困り事を聞き、情報の共有に努めながら安心確保の関係作りをしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安や要望を傾聴し関係作りの努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の理解と協力を得て少しずつご本人の為になるサービスに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にしている者として支えあう関係を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族と本人の絆を大切にし、共に本人を支えている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>現在までの大切な馴染みの方の来所等お話される事や時を大切にし、馴染みとしてきた関係継続の支援に努めている。</p>	<p>地域行事に参加したり、家族や知人の訪問を奨励し、継続的關係が途切れないよう働きかけている。息子夫婦やひ孫など親族の面会が多く、関わりの時間を大切にしている。家族の協力で馴染みの人や場所との関係が途切れない支援を行っている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>孤立を防ぎ利用者が一緒に過ごす食堂のテーブル配慮に気配りし、関わりあえるようにしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>必要な時相談支援に努めるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段も大切であるが、ご家族の来所にて意向の把握に努め困難時柔軟に本人本位に検討しながら対応している。	家族から得た情報をもとに、日々の様子を観察し、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、申し送りや日々の暮らしの中で家族から情報を得て、職員間で話し合い本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	把握に努め、次のステップに活かせるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りノートに記入し、他のスタッフは内容の把握に努め次の現状に備えている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	それぞれの意見を参考にし、現状に合う介護計画にしている。	本人や家族の希望を基に職員の意見・主治医や必要な関係者の意見を参考に現在の生活に即した介護計画を立てている。月1回のモニタリング、見直しは6ヶ月に1回、状況に応じて随時、現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>時間を申し送り時等決め話し合い、情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりの状態に応じ柔軟な支援ができるようにサービスの提供に努める。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>日々の買い物は近所でし、体調良く暮せるように心がけている。色紙や塗り絵等購入し、落ち着きがでて事故に繋がらないようにしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>受診を受けられるよう支援し、ご家族の希望を念頭に安心できる支援にしている。</p>	<p>本人や家族の希望により、母体医療機関がかかりつけ医となっている。月2回の訪問診療や看護師職員在勤などで、健康管理も密に行われ、緊急時の対応などに連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。他科受診は家族同行となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、口吊の関わりの中にとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員は同一建物内にあるクリニックの看護師に相談してから対応に努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>1階クリニック医師・看護師との情報交換と相談できる体制がある。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化と終末期のあり方についてご家族と話し合い、生活する上で納得いくまで受け止めて説明する。</p>	<p>入居時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い随時話し合い、かかりつけ医と施設長・管理者・職員が連携して家族と方向性を共有できるよう支援態勢が整っている。24時間医療連携体制で緊急時でもすぐ対応できる。看取りの経験がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>常勤勤務の准看護師を中心に急変時対応、初期対応の訓練を実施し身に付けるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>非常時対応について消防訓練等を通じ、場面の想定をし話し合いや学びあい等行い町内会長も協力している。</p>	<p>年1回消防署立会と単独で防火扉などの設備点検時、昼夜間想定避難訓練を同敷地内にある母体法人の施設と合同で実施し、協力体制をとっている。スプリンクラーや緊急通報装置も設置されている。地域の見守りや協力もある。通報ベルも近隣に聞こえ連絡を貰っている。備蓄として水や米・梅干し・塩などがある。耐震構造で1階多目的ホールが避難場所となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人生の先輩としてお名前をお呼びし、視線を合わせ誇りやプライバシーを損ねない言葉かけで対応している。</p>	<p>人権尊重、権利擁護などの資料を配布しフロアごとに昼食後、短時間で勉強会をしている。トイレ誘導時や入浴介助時には配慮している。人生の大先輩を尊重した関わりで、〇〇さんと呼び、言葉遣いに留意し日々対応している。また無理強いをしない対応をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常で本人の思いからの希望の表現等、自己決定できるようにしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員の都合の優先ではなく、一人ひとりのペースでその日をどのように過ごしたいか希望をくみ支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>個性を活かした身だしなみとおしゃれで過ごして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しめるように力に応じキザミ・あらキザミ・普通食等食べやすいようにし介助する。重度化で準備と後片付けに利用者は応じられなくなっている。	経口摂取ができる食形態で美味しく食べられるよう工夫している。食材は1日30品目取り入れ、微量栄養素が摂取できるよう、命を守る献立となっている。誕生会や季節ごとの行事食を提供している。フロアで家族との弁当持参での会食など楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事量、栄養バランス、水分量の確保ができるよう一人ひとりの習慣に応じた状態や力について支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食堂の洗面台、食後のテーブル、居室の洗面台で食後の口腔ケアをし状態をチェックしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ誘導ができる方は定期的に誘導し、排泄の失敗やおむつの使用を少しでも減らしている。	排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄を大切にしている。食事前の簡単な体操と乳製品、水分摂取などで、自然排便と排泄の自立を支援している。布パンツやリハビリパンツ・ポータブルトイレ使用など、個々に応じて失禁が少ないよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事前の簡単な体操と朝食後にバナナ・牛乳又はヨーグルト又は野菜ジュースを取り入れ、個々の状態に応じて腹部マッサージ等予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人の人格を大切に視線を合わせ、誇りを持てるよう温かく接しプライバシーを損ねない対応をしている。	基本は冬は週2回、夏は週3回と季節を考慮した入浴支援をしている。一人ひとりの人格を尊重した声かけや対応で支援している。入浴拒否がある場合は、無理強いせず、時間を調整したり、翌日に声かけし支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠や休息がとれるように声かけし、安心して眠れるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフの協力で一人ひとりの状態把握に努め、服薬支援をし変化の確認に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの楽しみを活かした活動や利用者同士で談話をされたり、全員で歌や手踊りをされたりと楽しみの持てる支援をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ご家族同行での病院受診や、ご家族と外出できる利用者は外出準備等の支援をしている。他の利用者は歩行難しく外出されにくい。</p>	<p>日常的には車椅子で公園まで散歩や近くの店に買い物に出かけている。計画を立てて、花見やドルフィンポートに出かけたり、地域行事の夏まつりの見物に行っている。家族の協力で外出や外食などの支援もしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>服薬、日用品を買えるように小遣いを事務所で預かり保管している。又その時々によりご本人に所持して頂くこともある。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人から電話等できるよう支援して安心して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	前療養型からの転換の為エレベーターや玄関設備が整い住居が居心地よくなり、食堂や談話室で落ち着いて過ごされたり居室で休まれたりされている。	食堂兼談話室は採光もよく、温度・湿度も適度に管理されている。テーブルに季節の花が生けてあり、テレビや絵本など見やすい位置に置いてある。ソファもあり、ぬりえやテレビを見て、ゆっくり過ごせる配慮がされている。外の景色も大きな窓から眺めることができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルでの席は、馴染みの方々との相席になれるようにし、座りやすくしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が馴染んだ物や使い慣れた物で対応し、本人が過ごしやすいように工夫している。	居室には、介護電動ベットや床頭台・タンス・洗面台が備え付けである。本人や家族と相談し寝具類や時計・写真など使い慣れた物品等を持ち込み、安心して居心地よく暮らしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりのできることをみつけ少しずつ本人のできることを続けられるように工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない